



下津井中学校HP
二次元コード

はばたき

校訓 自主・勤労・責任

倉敷市立下津井中学校
学校だより
令和4年9月9日
NO.13

これは修学旅行のメニューなのか！？

8月お盆明けに3年主任の山下先生から修学旅行のしおりを受け取った。パラパラと行程を眺めた…。「こりゃ、二日目は自分の体がもつかな。初日は、ゆったりできそうだけど…」などとお茶飲みながらも一回行程を眺めていた。その後、台風の接近やら、コロナによって、少し変更をしなければならなくなり、初日予定の「桂浜水族館」が「龍河洞」という鍾乳洞見学になった。…これにより、初日のゆったりも消えることになるとは、この時気づいていなかった。アクティブ大好きな山下学年主任ならではのメニューは、天気予報をチェックしながらの二泊三日になるのであった。



有名な祖谷のかずら橋

こんなアクティブな修学旅行は下津井中だけ！

★アクティブ1「龍河洞」

最初の訪問地「龍河洞」の入り口は冷房効きすぎレベルの寒さだった。あまりに寒かったからなのか、説明が終わったとたん、友田先生を先頭に急いで中に入っていった。そして、そこからのスピードがいっこうに収まらない。

たしか、入り口の説明では「45分から1時間くらいかかります。」とのことだったが、暗闇から突然現れる鍾乳石に頭突きされながら、下津井中軍団は行進をとめない。他の観光客の方が、ベンチに腰掛け鍾乳石の美しさを眺めていた様子もあったが、湿度が高く、吐く息でメガネは曇ってよく見ないため、数回鍾乳石に体をぶつけながら、やっと外に出た。その時間は25分ほど…。想定の半分の時間で通り抜けたのであった。「ちょっと早すぎましたか？」と語る友田先生の笑顔が私には鬼に見えた。



★アクティブ2「フォレストアドベンチャー祖谷」

二日目は台風の影響であいにくの小雨だったが、インストラクターさんの「コースは森の中なので大丈夫ですよ。」の言葉通り、森林浴をしながらのアスレチックとなった。コースが進むにつれ、地面からの高さ、難易度がどんどん高くなっていく。普段使うことのない筋肉までもフル活用して、樹上でプルプル震えながら進んでいった。悲鳴、絶叫、笑い声が森の中を飛び交う。「誰が揺らしてるのお?!」「自分じゃろお!」なんて会話も面白い。そして、最後はジップラインで川の上を飛んだ。350mを超える空中散歩は最高だった。

★アクティブ3「金毘羅山」

二日目の午後は金毘羅山へ登った。本来ならば、アクティビティではないが、午前中のアスレチックの後に数百段の階段を登ることは、立派なアクティビティである。3年生諸君はワイワイ会話しながら、あるいはグズグズ文句言いながら本堂に向かっていく。本当に君たちのエネルギーはすごい。私は、雨に濡れたマスクで呼吸が苦しくつらいのに、膝だけは登り始めてすぐに笑い始め、中ほどには大爆笑になっていた。二日目の夜は思い切り眠れた。

(次号に続く)